

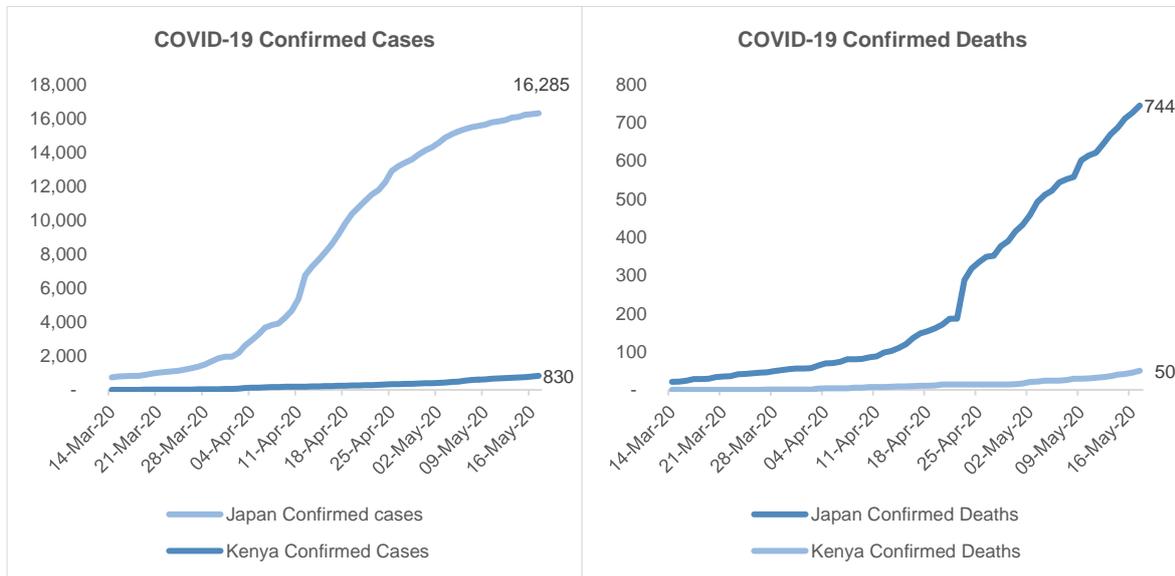


MEGHRAJ

## ケニアにおける新型コロナウイルスの影響

ケニアの新型コロナウイルスの影響は深刻ではあるが、ケニア政府及び IMF 等の国際機関の迅速な行動並びに、官民の金融機関の協力により、本年の経済成長は、少なくともプラス1%を維持すると予測されている。今後の経済活動再開のスピードにもよるが、来年度は5.2%まで回復すると想定されている。

アジア、ヨーロッパからは、かなり遅れて、3月13日に最初の感染者が確認されました。5月16日時点で感染者は744名、死亡は50名に上りました。次のグラフはケニアにおける感染者数、死亡者数のトレンドを示しています。（日本の数値をご参考までに掲載しております。）



Source: [ourworldindata.org/coronavirus](https://ourworldindata.org/coronavirus)

## ケニア政府の対応

ケニア政府は過去に伝染病に対応した経験を活かし、新型コロナウイルスの感染者の確認後、迅速に対応することができました。（最初の感染者確認の2日後の）3月15日には全ての学校が休校となり、官民両方の職業従事者は、原則在宅勤務となりました。続いて、ケニア国民及び居住者に対しての移動制限を実施しました。また、14日間の自主的な自宅待機を前提に入国が許可されていましたが、その後、全面的に海外渡航・入国が禁止され、入国者には強制的な14日間の待機が課せられました。ライフラインに関連しない全ての小売店、飲食店は休業するように政府より指導されました。公共交通機関ではソーシャルディスタンスを保つように法的に要請され、国内の特定の地域への移動は制限されました。屋外での15人以上の集会の禁止と午後7時から午前5時までの夜間外出禁止令が発令されました。

**Meghraj Capital, Japan**

Level 18 Yebisu Garden Place Tower, 4-20-3 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-6018, Japan

Tel: +81 (0)3 5789 5731

Email: [sozo.imamura@meghraj.com](mailto:sozo.imamura@meghraj.com)



MEGHRAJ

## 経済支援措置

ケニア政府は経済刺激策も迅速に実行し、GDP の 1.5%相当の経済刺激策を導入しました。

**税金：** (1) 法人税、個人の所得税の税率を 30%から 25%へ低減 (2) VAT は 16%から 14%へ低減 (3) 税控除を KES 24,000 (USD 220) /月に引き上げ

**金融政策：** (1) 中央銀行の政策金利を 8.25%から 7.25%に引き下げ (2) 預金準備率を 5.25%から 4.25%に引き下げ (3) レポ取引のテナーを 28 日から 91 日までに変更

**財政出動：** (1) 国民皆保険の基金から KES10 億を医療関係者の新規雇用に適用 (2) 労働省は KES 100 億を高齢者、孤児、その他の被害を被りやすい国民のケアに適用

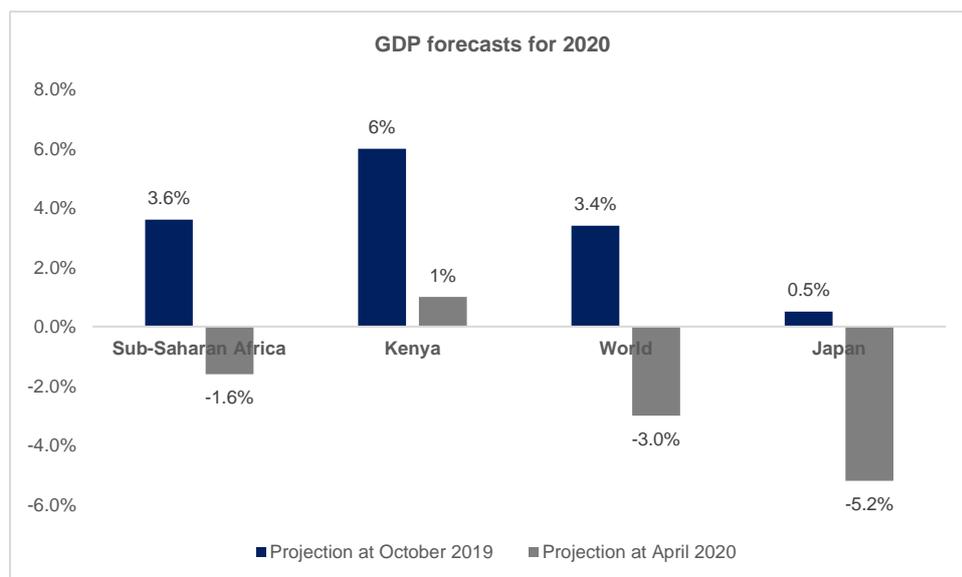
## 国際的な新型コロナウイルスに関するサポート

国際的な新型コロナウイルスに関するサポートは、迅速に実行されました。アフリカ開発銀行では USD10 億の新型コロナウイルス関連のファンドを立ち上げ、ケニアにはその一部が割り当てられると想定されています。

**IMF：** ケニアが、借り入れができる USD739 百万のクレジットラインを迅速に設定しました。この資金はケニア政府が家計及び企業のサポートをするため、また公衆衛生の維持をするための歳出の一部をカバーする目的です。この IMF のサポートは、その他の国際的な資金サポートを呼び込む役割を果たしました。

**世界銀行グループ：** USD 50 百万を緊急ファンドとして種々の医療のために拠出

## 経済の見通し



Source: IMF

### Meghraj Capital, Japan

Level 18 Yebisu Garden Place Tower, 4-20-3 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-6018, Japan

Tel: +81 (0)3 5789 5731

Email: sozo.imamura@meghraj.com



MEGHRAJ

新型コロナウイルスは大きな影響をケニア経済に与えています。自国通貨は、3月初旬からの比較では、対米ドルで約5.5%下落しました。主要な株価指数であるNairobi Stock Exchange 20 Indexはこの間16%下落しました。ケニアの中央銀行は2020年の経済成長率を6.2%から3.4%に下方修正しています。(IMFの予測数値では1%)

このような状況がいつまで続くかを予測することは困難です。ケニア及び海外の権威のある機関の中には、国内の種々の制限を緩和すべきとする見解もありますが、同ウィルスは新型であるために制限緩和の影響の予測が困難であり、第二波が発生すれば、これらの見解は楽観すぎたこととなります。

本年の第二四半期の終わりに新型コロナウイルスの感染が下火になれば、経済活動を再開するために、徐々に各種制限を緩和していくことが想定されています。世界銀行はこのシナリオが実行されれば、ケニア経済は急速に回復し、2021年には5.2%の回復をすると予測しています。

## 新型コロナウイルスによるケニアの主要セクターへの影響

### 農業

農業はケニアで最も重要な産業であり、GDPの34%を占めています。ケニアは、花卉、紅茶、コーヒー、野菜を輸出しています。花卉、紅茶、コーヒーは需要低迷による価格の下落、ロジスティクスの分断により影響を受けています。一方、野菜、果物については、海外からの需要は高いものの、輸送用航空便の制限により影響を受けています。

### 製造業

ケニアは、東アフリカで最も工業化されている国であり、地域での製造ハブとして機能しています。GDPの17%を占める製造業には、農産物加工、衣服、電子製品、製紙、化学製品、製薬、金属、様々な工學品等多様な製品が含まれ、自国及び輸出用に製造出荷しています。新型コロナウイルスの感染が広がり始めて以来、食品、薬などの生活必需品の需要は堅調ですが、生活必需品以外の製品の需要はロックダウンの影響で停滞しています。

ケニアの製造業は、世界の他の地域の製造業と同様に、需要、供給双方において困難が生じています。生活必需品以外は、輸出及び国内向け両方の需要が低迷しています。需要がある場合でも、移動やロジスティクスの制限により供給網が影響を受けている状況です。また、キャッシュフローのサイクルが伸びているために運転資本のやり繰りに支障が生じています。サプライチェーンも分断されており、これに伴う追加コストが発生している状況です。従業員の罹患、自宅隔離、通勤困難及びソーシャルディスタンスや個人防護具の着用などの義務により発生する追加コストも、企業の負担となっています。

## Meghraj Capital, Japan

Level 18 Yebisu Garden Place Tower, 4-20-3 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-6018, Japan

Tel: +81 (0)3 5789 5731

Email: sozo.imamura@meghraj.com



MEGHRAJ

## 旅行観光業

旅行観光業は、接客、イベントマネージメントとともに三番目に大きなセクターで外貨獲得をしてきた業種ですが、新型コロナウイルスの影響を最も受けたセクターです。国内外の種々の制限が緩和され、海外からの渡航が可能になれば、徐々に回復することが期待されています。但し、新型コロナウイルスに関連する制限緩和後も、ソーシャルディスタンスや個人防護具の着用は要求されるなど不自由な状況は当面続くと考えられるため、当該セクターの回復は緩やかになると考えられております。

## 金融機関

民間金融機関は中央銀行と歩調を合わせ、新型コロナウイルスの問題に取り組んでいます。民間金融機関は1ページ目に記載した金融政策の恩恵を受けています。さらには、新型コロナウイルスの影響を受けている顧客に対する債権の分類及びローンのリストラクチャリングにおいて、抜本的な対応をとることで合意しています。上位7行は、旅行(31%)、不動産(17.2%)、建設(17.0%)、貿易(12.4%)の業種における総額 KES1760 億のローンのリストラクチャリングを2020年4月に実施しました。ケニアの銀行は高いレベルの流動性を確保しています。2019年末にケニア政府は上限金利を撤廃しています。\*( )は各セクターにおけるローンのリストラクチャリングの割合を示しています。

ケニアの金融機関は、現状を乗り切るために必要な資本を確保していると自信を持っています。これは、ケニア銀行協会のCEOであるDr. Olakaの次のようなコメントにも表れています。「ケニアの金融機関は、現状のような極端なストレス下においても、十分な自己資本を確保していると考えている。今後も自己資本は規制を十分上回る水準で推移するであろう。これが意味するのは、ケニアの金融機関は、社会全体の安定性を損なうことなく、新型コロナウイルスに伴う危機を回避し、今後も事業をサポートし続ける力強さを維持しており、このことは既に明白である」

## Meghraj Capital, Japan

Level 18 Yebisu Garden Place Tower, 4-20-3 Ebisu, Shibuya-ku, Tokyo 150-6018, Japan

Tel: +81 (0)3 5789 5731

Email: sozo.imamura@meghraj.com